

ミニバスの始まり・・・その2

(4号：2010年8月12日)

いよいよ機も熟してきて、山口県ミニバスケットボール連盟が誕生するわけですが、今回はこのことについて書いてみたいと思います。

昭和54年9月24日、防府市に県内の指導者23名が集まり、設立総会が開かれました。その時の要項がありますのでご紹介しましょう。

設立総会議題

- 1 山口県バスケットボール協会理事長挨拶
- 2 議題
 - (1) 設立経過の報告
 - (2) 連盟規約の制定について
 - (3) 代議員及び理事・理事長の選出について
 - (4) 昭和54年度事業計画及び予算について
 - (5) その他

この会議の中で上記の議題は全て真剣に検討され、各種の事柄が決められました。当時の参加者の意識は、「とにかく組織を立ち上げる」ことでありました。誰かが、どんな形にしる、まず組織をつくらないことには、それを育て発展させることも、改良することもできないという認識で一致していたと思います。

役員として、山本理事長をはじめ、18名の理事の方が決まりました。今この名簿を見ますと、高等学校の先生から小・中の先生、会社員や公務員の方々と多士済々です。また、地域的にも広範囲から集まっております。萩市の2島から2名の理事が出ているのも目を引くところです。なお、事務局は私、小林が引き受けることとなりました。

この場を借りて、初年度の全登録チームを紹介しましょう。(当時の名簿順)

・福川バスケスポ少 ・佐波ミニバス ・船木ミニバスクラブ ・上島田ミニバス
・富田女子バスケ ・新庄ミニバス ・大和町ミニバススポ少 ・平生ミニバス
・見島スポ少 ・彦島ミニバス教室 ・有帆バスケ少年団 ・曾根ミニバス ・松崎ミニバス
・柳井ミニバス ・柳東ミニバス ・新南陽ファイターズ ・岐山ミニバススポ少
・浅江ミニバススポ少 ・室積ミニバス ・王司ミニバススポ ・小月ミニバス
・本村ミニバス ・厚南ミニ ・見初ミニバス ・高千帆ミニ ・付属光
・須々万ミニ ・万倉ミニ ・小野田ミニバス ・江の浦ミニバス

なつかしいチーム名が出てきますね。何ととっても驚くのは各チームの選手数の多さです。一番多いチームでは男女合わせて76名です。1チーム平均35名です。当時の子どもたちにとってもミニバス等の社会体育活動への参加はとても魅力的なものだったのでしょう。次回も昭和54年を中心に書いてみたいと思っています。